

JUNGIDO

滋賀県立膳所高等学校同窓会報

遵義堂

VOL.38

URL: https://dousokai.site/zezekoukou/ E-mail: zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp
発行人/大崎悦男 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会 大津市膳所 2-11-1 TEL077-524-4295 FAX077-524-1732
発行日/令和3年4月15日 編集人/広報部会・卯田重子

巻頭エッセー	1
新入会員	1
令和3年度総会のお知らせ	1
退任にあたって	2
同窓生トピックス	2
良友集い、母校を支援	2
膳所高校境界の今	2
班活動の今昔	3
会費納入について	4
周年・記念同窓会予告	4
同窓会事業のご案内・報告	4
石鹿文庫	4
会務・会計報告・総会提出議案	5
膳所高NEWS	6
コロナ禍下の膳所高校	6

巻頭エッセー



伝統ある膳所高校に赴任して

校長 檀原 義幸

膳所高等学校同窓会の皆様には、平素より本校教育活動の推進に、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

令和2年4月、120年を超える歴史と伝統を誇るこの膳所高校に校長として着任させていただきました。初代校長の稲垣末松先生から数えて私は第27代の校長となります。

私が高校へ進学した当時は、学区が異なることから本校を受検することはできませんでした。しかし、父の時代にはそれが可能であり、父は本校の前身膳所中学を戦後間もない頃に卒業しています。90歳を超えた今も健在で、私が本校の校長となったことを大変喜んでくれました。ちなみに父が在籍していた頃の校長の名を覚えていたかと尋ねたところ、「確か杉本先生だったかな」と申しました。70年以上前のことをよく覚えていたなと感心するとともに、自分がどのように生徒に記憶されるような校長である

のかと自問し、到底それが望めるような働きはできていないかと恥じ入るばかりです。その第5代校長杉本一郎先生の写真は、校長室の私の席からよく見えるところに飾られています。当時は現在と異なり一人の校長の在任期間が長く、杉本先生は12年近く務められました。現在の本校の校訓は「遵義・力行」ですが、当時は「至誠遵義 自主力行」と言われ、父もよく唱和したものだとのことでありました。

さて、令和2年度は学校教育全体が新型コロナウイルス感染症の猛威に大きな影響を受けた1年でした。4月から2か月間は臨時休業となり、6月の学校再開後も、教育活動に様々な制限や変更を迫られました。在宅でのリモート学習、高校総体や高文連行事の中止、修学旅行の見送りなど、多くの試練を乗り越えながらも、生徒たちは遅く成長してくれていると思います。「自律」を重んじる校風は生徒たちにも浸透

しており、一時は中止もやむなしと思われる学園祭は、生徒会が自ら感染防止マニュアルを作成し、プログラムも創意工夫しながら、「膳代未聞の湖風祭」として見事にやりきってくれました。その取り組みが評価され「日本生徒会大賞特別賞」の受賞につながり、全国紙の新聞にも特集記事が掲載されました。スーパースイーツハイスクールとしての実践や大学進学実績はこれまでから注目されてきましたが、このような生徒たちの気質もまた本校が誇る一面ではないかと感じています。

県内最大規模の本校も少子化などの影響による学級減で、令和3年度は1年生が9クラス、2年生が10クラス、3年生が11クラスとなります。大きな過渡期を迎えますが、「文武両道」の精神を尊び、コロナ禍に負けない健全な高校生活を送れるようこれからも努めてまいります。

同窓会の皆様には、今後とも母校の教育振興のため、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

檀原義幸校長先生は三月末で定年退職されました。一年間お世話になりました。四月からは富江宏校長先生が着任されています。

新入会員

私たちだけの三年間

令和3年3月卒業 宿谷 明日香

膳所高校での三年間はあっという間に過ぎてしまいました。私にとって、この三年間は人生においてかけがえのないものとなりました。しかし、皆さんは今年の卒業生はかわいそうだったと思われられるかもしれません。確かに、昨年の新型コロナウイルスによる休業で、私たちの日常は奪われてしまいました。最悪だったのが、部活動の最後の大会がなくなりました。休学期間、私は吹奏楽班に所属していましたが、休業期間にそのような連絡があっても実感が湧かず、もう仕方ないことだから勉強に切り替えようと思いましたが、休業期間が明けて部活動が再開されたとき、やはり私は部活動が好きだったのだと実感しまし

た。共に切磋琢磨してきた仲間と夢を見られなくなりました。どこにも怒りをぶつけることができず、これからどこに向かっているかわかりませんでした。そんな中、先生方が最後の演奏の機会を設けてくださり、私たちはそれに向かって練習に励みました。本番が終わった後は何も悔いは残りませんでした。

また、湖風祭は開催が危ぶまれましたが、生徒会やブロッカー長を中心に、みんなが安全に行えるようルールをつくり、感染者を一人も出さず終わることができました。例年より規模は縮小されましたが、その年だけできない湖風祭になったのではないかと

と思います。膳所高生の主体性は勉学にも通じ、友人と学びを深めていく中で新たな気づきがありました。膳所高校の生徒は、互いに尊敬しあうことができる人ばかりです。私はその環境で三年間過ごすことができました。本当に幸せに思います。普通の三年間ではありませんでしたが、私たちにしか経験できなかった三年間でもあり、特別なものとなりました。このような思い出となったのも、先生方や家族、地域の方々のお陰であり、たくさんの人の支えによつて卒業を迎えることができました。本当にありがとうございました。

これが自分自身の未来に向かって堂々と進んでいきたいと思えます。



令和3年度 総会のお知らせ

会員皆様方の多数のご出席をお願いいたします。

令和3年度 定例総会

(懇親会は中止)

日時 令和3年5月16日(日) 午前10時

(午前9時30分受付開始)

場所 膳所高校4階大会議室

総会式次第

●議事 一、令和2年度会務報告・部会報告

二、令和2年度会計報告・会計監査報告

三、令和3年度事業計画・予算審議

一、その他

●講演 「コロナウイルスを知り、感染を防ぐ」

講師 辻井 栄作 氏

(膳所高26回 昭和53年卒業)

講師のプロフィール



昭和53年3月 膳所高校 卒業
昭和59年3月 山梨大学大学院工学研究科修了
平成4年4月 理化学研究所 研究員
平成5年9月 東京大学大学院 農学博士授与
平成11年9月 米国イェール大学医学部 留学
平成19年10月 アステラス製薬 感染症研究所 主任研究員
平成31年4月 京都大学 研究倫理・安全推進室

要約

コロナウイルスの直径は約0.1ミクロン、遺伝子はリボ核酸(RNA)で、ウイルス表面のスパイク(S)蛋白が、血管や肺にある受容体に結合して感染する。認可されたワクチンはこのS蛋白のmRNAを成分とする新しいタイプのもので、接種後に体内で作られるS蛋白への中和抗体産生や免疫応答を誘導する。現在、副反応に注意しつつ接種が進められている。RNAウイルスは複製の過程で変異しやすく、今後、変異株における感染力的変化に警戒が必要である。科学的な視点から、新型コロナウイルスとその感染症について概説する。

総会の開催について

昨年、新型コロナウイルス感染拡大により、総会(講演会、懇親会含む)を中止いたしました。今年3月に入ってから状況は、昨年末からの第3波が2月中旬以降、新規感染者数の減少スピードが鈍化しているもの、減少傾向にあります。そのことから、今年度は、感染確率の高い懇親会を行わず、感染防止対策を充分にとりながら、総会(講演会を含む)を開催することを決定いたしました。この会報が皆様の手元に届くころ、収束に向かっているのか、第4波に陥っているのか、全く予測ができません。4月以降、65歳以上の高齢者からワクチンの接種が始まりますが、変異株の影響が高まっていることもあり、万が一の時は総会を中止、昨年と同様の措置をさせていただきます。ご理解・ご承の程よろしくお願いたします。

退任にあたって



第26代膳所高等学校校長
小島 秀樹

私は、平成30年4月から令和2年3月までの二年間勤務させていただきました。この間、校長という重責を担うことができたのも、大崎会長をはじめ同窓会の皆様方の多大なるご支援、ご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。振り返りますと、私が着任した平成30年は、ちょうど学校が創立して120周年の記念すべき年でした。また、その年の三月には、野球部が第90回記念選抜高等学校野球大会に21世紀杯で出場し、甲子園という大きな舞台で大活躍してくれました。

私は、甲子園出場の熱気と興奮が冷めやらぬ中で着任いたしました。まず驚かされたのは、生徒が、日常の授業はもちろん班活動や生徒会行事、SSHの取組など、様々な活動に主体的にそして意欲的に取り組んでいることでした。日々の授業という真剣勝負の場で、自己の知性や能力を最大限伸ばそうと努力するだけでなく、生徒会行事やSSHの取組では、より内容の濃いもの、より高度なレベルのものを求めてたゆまぬ努力をしている生徒の姿に感動しました。そして、このような生徒を支える先生方の信念と情熱は、並々ならぬものがありました。生徒が更なる高みを目指して伸びようとする気持ちとそれに応えようとする先生方の情熱、膳所高校がこれまで高い実績を積み上げてきた原動力がここにあるのだと確信しました。

平成30年11月9日、創立120周年記念式典がびわ湖ホールにて盛大に執り行われました。当日の受付や司会等の運営、スライドショーやポスター制作、プログラムの表紙デザイン、また準備や後片付けに至るまで、生徒主体の記念行事をコンセプトにした膳所高校らしい記念式典であったと思えます。さらに、創立120周年記念誌の発刊とすべてのホームルーム教室にプロジェクトを設置していただきました。これらの創立記念事業の実施にあたり、同窓会の皆様方には、募金活動等でひとかたならぬご支援をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

今、膳所高校を離れて改めて思いますのは、生徒のたゆまぬ向上心と努力する姿勢の素晴らしさです。限らない可能性を秘めた膳所高校の生徒にエールを送るとともに、輝かしい歴史と伝統をこれからも繋いでくれることを期待します。

最後になりましたが、母校膳所高校の益々の発展と同窓会の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、退任のご挨拶といたします。



◆同窓生トピックス◆

『明智光秀ブームで 大わらわだった令和二年』



滋賀県立安土城考古博物館
学芸員 高木 叙子 (昭60卒)

「学芸員」として県立の安土城考古博物館に勤務して、29年になります。最近では、テレビや新聞などで「学芸員」を目にする機会も増えましたが、人々の認識は「博物館で展示や企画をする人」程度で、実際の仕事はまだあまり知られていないように思います。

私の仕事は、戦国時代や織田信長・安土城について研究し、その成果を展覧会や講演などで示すことです。こう書くのが好良く聞こえますが、具体的には、日々資料の保管管理に心を砕きながら、展覧会では多くの所蔵者と交渉し、書類を交わして拝借の手続きををし、展示や保存環境を整え、安全に梱包輸送して陳列をおこなっており、非常に地味で地道な仕事です。「壊れてあたりまえ」のデリケートな資料たちを扱うため、神経を遣いますし気苦労も多いですが、仕事の達成感や充実感はその苦労を吹き飛ばしてくれます。多くの所蔵者や学芸員同志の間で長年培った信頼関係も、この仕事ならではの喜びです。

昨年は、明智光秀が主人公となった大河ドラマが注目されたことから、担当の展覧会開催のほか、テレビ取材や出演（NHK「本能寺の変サミット2020」ほか）、朝日新聞の連載各所での講演などもこなし、個人的にも「麒麟パブル」の年となりました。信長や光秀は歴史上の超有名人ですが、それゆえに誤解や思い込みなどによる間違ったイメージも多いため、正確な資料を元にこれらをわかりやすく正していくことが日々努めています。

歴史が好きだと認識したのは、高校一年生の頃です。担任の先生に「歴史が勉強したいから史学科に行く！」と宣言した時「行くのは勝手だがメシは食えんぞ」と一笑に付されました。強固な意志で突き進んだわけでもないのですが、幸運にも「歴史でメシを食える」人生を歩めていることは、自分のささやかな誇りです。そして、そう言いながらも本人の希望と意思を尊重してくれる自由な校風のおかげだったと、今になってしみじみ思うので



滋賀県立安土城考古博物館

◆良友集い、母校を支援◆

膳所高等学校同窓会におもう



平成11年度総会にて

今思えば、私たちにあって、希望と夢をいざなぎながら、木の香りと同窓の皆さんと女学生生活を楽しく過ごさせていたただいた学校が滋賀県立大津高等女学校でした。卒業後もささなみ同窓会会員として、今日まで過ごさせてもらい長生きできたことを喜んでおります。しかし、戦中戦後の混乱期には、多くの苦難や心の不安もありました。そんな中、恩師のご指導のおかげで、百人一首や万葉の歌を学び、親しむことで多くの苦勞や悲しみも楽しい思い出に変え、心の支えとしながら過ごした女学校時代を改めて思い出します。そうしておかげで今に至るまで、同窓の皆さんと仲良く過ごしてこられたものと感謝いたしております。

膳所高校界隈の今

今回は登校風景を取材しました。平成18年(2006年)より全県一区となり、県内のほぼ全域から生徒が通うようになりました。以前は守山・草津方面から電車で通学する生徒の多くが膳所駅から1.4キロほどの道のりを歩いていましたが、最近ではごく少数派となり、大半は石山で京阪電車に乗り換え膳所本町で下車するようです。瀬田方面から自転車です。近江大橋を渡って通学する生徒もいます。真冬の強風は辛いですが、好天なら琵琶湖や比良比叡を望む絶景の通学路となります。



また最近では、班活動で揃えた校名入りのバッグやウェアの生徒をよく見かけます。

ささなみ同窓会は会員の高齢化に伴い、平成17年度の総会をもって解散し、その名簿を膳所高校同窓会に引き継いでいただきました。終戦後県立大津高等学校は旧大津高校となり、さらに旧膳所中学校から学制改革で改変された旧膳所高校と合併、一部の同窓生は膳所高校の卒業生となりました。今は多くの同窓生が他界しその名を膳所高校同窓会として残していたに改め、謝意を申し上げます。これからも同窓会員の親睦を図り、後輩のご支援に尽力され、皆様の新しい手によつて多くの花々が咲き誇つてくることを願っております。

滋賀県立大津高等女学校ささなみ同窓会
会長 蒲生良子
同窓生一同

滋賀県立大津高等女学校校歌

作曲 服部半五郎
作詞 大西友之進

一、緑の山の影うつし
ほのほの明けくる琵琶の湖水を鏡の我が心
知識は広く恵は深く
いそしくも業励まむ
我等乙女子

令和2年の生徒数は1271人です。
通学方法は、

- JR琵琶湖線 602人
- 草津線 113人
- 湖西線 112人
- 京阪電車 917人
- 近江鉄道 29人
- バス 82人
- 自転車のみ 193人
- 徒歩のみ 49人

バス・電車通学には重複する者もあります。



班活動の今昔

湖風祭2020

日本生徒会大賞2020特別賞受賞

前生徒会副会長 福本 雄大



「湖風祭」は、生徒会総務部が中心となって企画運営し、クラスごとの出し物に加え、1〜3年の縦割りブロックでの発表で優勝を目指し競い合う膳所高校の伝統行事である。コロナ禍以前に、本年度は本校1クラスの定員減を受け、湖風祭の審査システムやブロック制度そのものを見直しを余儀なくされた。そこで「#湖風祭やばい」と銘打ち、生徒全体で議論していこうというキャンペーンを行っていたが、新型コロナウイルスの影響で突然臨時休校になってしまった。家の中でも私たちにできることはある。「中止という判断がなされるまで、俺たちは全力で取り組もう」という意志のもと、昼夜問わずZOOMなどを用いて意見交換し、準備を進めてきた。しかし、5月22日、学校から中止決定の判断が伝えられた。諦めきれない私たちは、6月3日、ブロック長たちと共に、湖風祭を復活するべくゼロから湖風祭について考え直すことにした。感染対策をした上で、すべての生徒みんなが積極的に参加できる活動とは何だろうか。当初は、クラス発表を中心に行う案とブロック発表を中心に行う案で対立した。このままでは話が進まない。今後の流行状況に対応するために、これら2つの案のほかに屋外での体育祭案も付け加えて、合計3つの独立した実施要項案を作成し、職員会議で復活開催を認めていただいた。結果としてマスゲーム・ビジュアル・アーティスト部門によるブロックでの発表となった。各教室での映像作品がメインとなり、例年とは大きく異なる祭となったが、何もわからない新入生に、形は違うものの、「これが膳所の湖風祭なのだ」という理念を伝える役割を果たせたのではないかと思っている。

無事感染者を出さず成功できた理由の一つに、みんながそれぞれの持ち場で自分にとってできることを考え、実行したことが挙げられる。私は、広報担当として湖風祭パンフレットの編集を一任されていた。例年は生徒会室の印刷機で印刷し、ステープラーで製本していたが、今年は記念に残るさらにより良いものを作ろうという想いがあり、業者に発注し製本してもらった。後日のアンケートでは7割を超える生徒のみんなから好評をいただき大変有難く思う。また、会長は感染対策の総指揮を執っていたので、副会長である私は他にできることはないか考えた。趣味の動画編集を活かして、感染対策・熱中症予防コマシヤルの制作を提案した。各ブロック30秒程度で内容を考えてもらい、撮られた映像素材と絵コンテをもとに私が編集するというものだ。特別準備期間では編集作業に追われ、想像以上の仕事量だった。しかし、みんなが私では絶対に思いつかないであろう面白い内容を考えてくるので、それが力の源になった。本校生徒会の醍醐味は、自分自身の行動力次第でも何でもできることである。感染対策による制限の中でも新たな湖風祭の形を実現できたのは、生徒ひとりひとりの行動力の賜物によるものだ。膳所高校の凄まじさを実感することができた。

どうやら準備期間は、本番当日と同等もしくはそれ以上に楽しいらしい。例えばクラスで何か活動するにしても、縦割りでも何か発表するにしても、準備段階が必要だ。その過程において、クラスの絆が深まったり、恋が芽生えたり、みんながワクワクを共有できる活動が一番楽しいのではないだろうか。「湖風祭マジック(=祭をきっかけに日々の生活が充実すること)が起きる祭にしよう」をコンセプトの一つとして企画を進めてきたが、実際、特別準備期間1日目から「祭」というのも良いほど賑やかであった。今まで当たり前だったことが当たり前でなくなつたこのような状況だからこそ、一丸となつて大きな壁に挑戦できることの幸せを感じた。

結果として、日本生徒会大賞2020特別賞を受賞した。さらに全国紙の新聞にも本校生徒会の取組が連載され、大変光栄に思う。本当に良いチームに恵まれた。本校生徒会で学び得た経験を活かして今後様々な挑戦をしていきたい。

また、次年度以降の湖風祭がより一段と充実した祭になることを期待している。

今後ともご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお祈りします。



弁論班

弁論班顧問 田井 直樹

「初心者から、全国制覇へ」・・・中学校には無いクラブ活動です。入学、入班当初は全員初心者、素人です。ですが今までに全国大会優勝、3位、上位入賞を続け、また二つの全国大会に毎年出場を続けている隠れた強豪チームです。



ディベート甲子園全国大会

弁論班は「ディベート(討論)」と「スピーチ(演説・弁論)」の二つの分野で活動をしています。

「ディベート」は、「死刑廃止」「二院制廃止」といった論題に、肯定側・否定側の二つのチームに分かれて決められた時間の中で論を戦わせ、勝敗を決めます。毎年6月に地区予選、8月に東京で「ディベート甲子園」と呼ばれる全国大会が開かれます。平成17年全国優勝、平成23年3位、他ベスト8入賞も何度も果たしています。令和2年度は新型コロナウイルスの為、残念ながら開催が見送られました。「スピーチ」は、演台に立ち自分の思いを7分間で話すというものです。全国高等学校文化連盟主催の全国高校総文化祭が毎年7月に各県持ち回りで開催され、県予選で選ばれた代表弁士が全国から集まった70名あまりの弁士と共に舞台上で発表します。令和2年10月にも県大会が行われ、来年度の全国高総文和歌山大会への県代表として、本校2年生渡邊春和君が選ばれました。

当初弁論班はディベートを活動の主体としていましたが、平成27年7月に全国高等学校総合文化祭が滋賀県で開催されることになり、弁論班を中心にその運営を担うことに出場弁士としても参加することになりました。

今後もこの二つの分野で全国を舞台に活躍できるよう、頑張りたいと思います。放課後、第一CAI教室を覗いてみてください。10名余りの部員がごそそと活動しています。



全国高総文佐賀大会 弁論部門

野球班百二十年史制作記念事業

制作委員会副委員長 小林 忠司(昭50卒)

野球班は、学校創立と同時に発足し、2018年創部120周年を迎えました。学制、校名の変更はあるものの、現滋賀県立膳所高校野球班の創部から2018年までの120年の野球班史を制作することになりました。2018年第90回選抜高校野球に21世紀枠として出場したことが発端です。現監督・上品充朗氏が、新聞記者から野球班史の有無を問われましたが、当校にはありませんでした。その後、上品監督と現野球班の清水部長が学校保存のスコアブックや古い会報を調査し、400ページに及ぶ原稿にまとめ上げました。制作は野球班OB会の制作委員会に委ねられ、2020年6月にOB会役員5名で制作委員会を立ち上げました。その後、元原稿作成者の上品氏や若手OBを増員し、制作委員会は8名となりました。制作委員会では400ページに及ぶ原稿のチェック、出版業者の選定、班史に掲載する写真・記事の入手と選定を行いました。また、制作費用に関しては、班史の仕様を決め、数社の出版業者に見積書の作成を依頼しました。ページ数は写真掲載分を含め400ページとしました。発行冊数は、事前アンケートにより300冊とし、野球班OB会員に販売するほか、高校野球関係者へも寄贈することになっています。LINEグループを利用して購入を案内し、銀行振り込み等で事前に費用を徴収します。次回開催の野球班OB総会に制作委員会から本案件を諮問し、承認いただいた後、2021年度予算に費用を計上して、2021年夏に発行します。

野球班OB会員の誰からも素晴らしい班史と褒めていただけるよう、制作委員会では今後も委員会を開催し、検討を重ね、野球班120年史の完成を目指します。



同窓会費について

「終身会費導入」検討の撤回報告

平成30年度より財務、総務部を中心に、同窓会会費の納入方法変更の検討を進めてまいりました。平成31年度（令和元年度）には同窓会、学校、在校生保護者との意見交換と検討を実施してまいりましたが、令和2年度の新型コロナウイルス禍で会合等の自粛要請が強まり、一年にわたり検討が中断したことから、現在、結論の集約に至っておりません。

一昨年の常任理事会での協議を経て、総会で納入方法変更を検討することが報告されました。しかし、急を要する事項であるとはいえ、この重要な案件の議論が中途半端な中で結論を出すべきではないとの判断に至りました。

検討を開始した背景には、会費納入率の低さがあり、理事会や広報誌を通じてお願いをしてきましたが効果は見られませんでした。この状況が続くと数年後には同窓会の目的である「会員相互の交誼を厚くし、且つ母校の発展に寄与すること」の実行に経費面で支障をきたす局面が予測され、終身会費制度の導入と納付猶予期間（納入後4年間）の廃止を提案したものでした。しかし、検討開始以降に財務、総務部から重点的に会費納入の働きかけを徹底し、納入方法の改善を進めたことで、その成果が一昨年度以降あらわれ、会員の皆様からの会費納入状況の顕著な改善が認められました。同時に会員個人や団体からの多額の寄付もあり、終身会費導入に関しては、その検討と集約を急ぐよりも再度会費の納入状況を注視してゆくことが重要と判断し、検討を中止することといたします。

今後の同窓会会費納入については次の通りです。

- ①会費は、単年度会費 2,000円、5年会費 10,000円の選択制
- ②入会金は、3,000円（同窓会入会時に支払い）
- ③会費納入は、同窓会会則「第5条3項」に従います。

今後も財務部、総務部は、理事の皆様のご協力を得て、会費の納入促進、運用について継続して改善してゆきます。

同窓会員の皆様には、多くのご意見やご提案をいただきながら新型コロナウイルス禍で会議開催ができないという環境の影響もありましたが、検討自体を中止することとなり、対応の不備をお詫び申し上げます。

膳所高等学校同窓会 財務部会/総務部会

周年記念同窓会 予告

■65周年記念同窓会

・日時 令和4年4月4日（月）12時
 ・場所 未定
 ・会費 未定
 ・連絡先 堀江 充（TEL090・5887・2879）
 中村幸弘（TEL090・1896・6706）

■60周年記念同窓会

・日時 令和3年10月10日（日）11時
 ・場所 びわ湖大津プリンスホテル
 ・会費 10,000円（予定）
 ・連絡先 後藤 功（TEL090・7495・9433）

■60周年記念同窓会

・日時 令和3年 秋
 ・場所 未定
 ・会費 未定
 ・連絡先 松村文夫（TEL090・3658・6639）

■55周年記念同窓会

・日時 令和3年10月10日（日）12時
 ・場所 びわ湖大津プリンスホテル
 ・会費 10,000円
 ・連絡先 永味幸雄（TEL090・3998・9451）
 Mail: nyukio630@ezweb.ne.jp

■50周年記念同窓会

・日時 令和3年10月10日（日）12時
 ・場所 びわ湖大津プリンスホテル
 ・会費 10,000円
 ・連絡先 三元辰吉郎（TEL090・3971・8329）
 水谷 正（TEL090・1891・0527）

■45周年記念同窓会

・日時 令和3年10月31日（日）
 ・場所 琵琶湖ホテル
 ・会費 未定
 ※この時期、コロナリスクが終息していない場合

■40周年記念同窓会

・日時 令和4年2月12日（土）13時
 ・場所 びわ湖大津プリンスホテル
 ・会費 13,000円
 ・連絡先 安田直紀（TEL090・2198・9014）
 Mail: naokiyasuda1962@yahoo.co.jp

■35周年記念同窓会

・日時 令和4年1月2日（日）11時
 ・場所 琵琶湖ホテル
 ・会費 10,000円（予定）
 ・連絡先 澤 博史（TEL080・5704・8869）
 中江法子
 Mail: swh1024sayoko@gmail.com (総)
 nonno2248@gmail.com (中江)

■30周年記念同窓会

・日時 令和4年1月2日（日）
 ・場所 琵琶湖ホテル（仮）
 ・会費 10,000円（予定）
 ・連絡先 藤本健太（TEL070・5434・3356）
 Mail: kentafujimoto2011@gmail.com

■15周年記念同窓会

・日時 令和4年1月2日（日）
 ・場所 琵琶湖ホテル
 ・会費 15,000円程度
 ・連絡先 植西亮太
 Mail: h19.zee@gmail.com

■15周年記念同窓会

・日時 令和3年8月14日（土）12時
 ・場所 びわ湖大津プリンスホテル
 ・会費 10,000円
 ・連絡先 中田継太（TEL090・2107・7165）
 Mail: nakatana03@yahoo.co.jp

■新成人記念同窓会

・日時 令和4年1月10日（月・祝）
 ・場所 びわ湖大津プリンスホテル
 ・会費 約10,000円
 ・連絡先 小川隼平
 Mail: flatfalcon0106@gmail.com

■新成人記念同窓会

・日時 令和3年7月18日（日）13時
 ・場所 大津市民会館大ホール
 ・問い合わせ 濱田明英（昭61卒）
 （TEL090・1716・7299）

■第9回膳所高等学校吹奏楽班 OB合同演奏会

・日時 令和3年7月18日（日）13時
 ・場所 大津市民会館大ホール
 ・問い合わせ 濱田明英（昭61卒）
 （TEL090・1716・7299）

コロナウイルスの感染症の状況次第で延期となる場合があります。詳細は、後日連絡いたします。同窓会ホームページでもご案内します。

滋賀県総務部市町振興課からのご案内



滋賀に、帰ってきませんか。

Uターン移住のご相談は、しがIJU相談センターへ。
 TEL: 090-2730-4793
 Mail: shiga@furusatokaiki.net

同窓会事業のご案内

- ①第26回（令和3年度）ゴルフコンペ
 ・とき 令和3年9月20日（月・祝）
 ・ところ メイプルヒルズゴルフ倶楽部 甲賀市信楽町田代65
 ・スタート時間 8時00分アウト・イン同時スタート
 ・競技方法 ダブルペリア方式による18ホールストロークプレー
 ・プレー費 キャディー付14,000円
 セルフ10,500円
 ・会費 2,500円
 ・募集人数 40組
- ②第7回会員交流会
 ・三井寺（園城寺）長吏・福家俊彦氏の
 法話とお茶会を楽しむ
 ・日時 令和3年10月23日（土）13:30～15:30
 ・東近江市・政所茶生産者 山形蓮（膳所高OG）さんのお話と政所茶会
 ・国宝光浄院にて福家長吏（膳所高OB）のお話と三井寺茶会
 ・会費 2,000円
 ・定員 30名
- ③とも申込先 同窓会事務局（TEL077・524・4295）
 定員になり次第締切です。又、同窓会の年会費納入者に限定させていただきます。参加当日、納入も可能です。

膳所高卒業寄贈図書「石鹿文庫」

著者名	書名・巻次（版次）
山本健慈 編著	●地方国立大学一学長の約束と挑戦
前川喜平 著	●前川喜平が語る、考える。
中村浩爾 編	●社会変革と社会科学
川口是先生を囲む憲法と教育研究会 編	●憲法を生かす力とロマン
アト共高保所 著	●大人が育つ保育園
小林文人 編著	●日本の社会教育・生涯学習
須田武志 著	●ボクが小学生だったころのお話
書論研究会 編	●翰墨の縁 杉村邦彦先生瑞宝中級賞記念
井上和夫 著	●靴一筋
稲葉麻由美 著	●きみがつくるきみがみつかる社会のトリセツ
舟之川聖子 著	●セツ

卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。
 「石鹿文庫」は同窓生の著書を集めた文庫です。

令和2年度同窓会会務・会計報告・令和3年度同窓会総会提出議案

◆令和2年度 同窓会会務報告

2020年(令和2年)

- 4月 20日 JUNGIDO第37号発行(27,323部発送)
- 24日 令和元年度同窓会会計監査(同窓会事務局)
- 5月 17日 令和2年度同窓会総会(びわ湖大津プリンスホテル) 中止
- 6月
- 7月 4日 第1回役員会(セミナーハウス遊桜館 研修室)
- 4日 第6回会員交流会(明智光秀ミュージアムと福知山城の旅)中止
- 8月
- 9月 21日 第25回ゴルフコンペ(メイプルヒルズゴルフ倶楽部) 中止
- 10月
- 11月 4日 会費納入再度のお願い
- 21日 第2回役員会(セミナーハウス遊桜館 研修室)
- 12月

2021年(令和3年)

- 1月
- 2月 13日 第3回役員会(セミナーハウス遊桜館 研修室)
- 3月 1日 同窓会入会式
- 2日 第69回膳所高等学校卒業式(令和2年度)
- 27日 令和2年度同窓会理事会(アヤハレークサイドホテル)
- JUNGIDO第38号編集会議(計4回開催)
- 会費納入方法検討会議(計3回開催)

令和2年度開催 周年・クラブOB会

- 昭和35年卒60周年記念同窓会 延期
- 昭和40年卒55周年記念同窓会 中止
- 昭和46年卒50周年記念同窓会 延期
- 昭和50年卒45周年記念同窓会 延期
- 昭和60年卒35周年記念同窓会 延期
- 平成18年卒15周年記念同窓会 中止
- 平成31年卒新成人記念同窓会 延期
- バスケットボール班OB・OG会創立70周年記念行事 中止

◆令和2年度 同窓会会計中間報告(令和2年4月1日～令和3年2月28日)

一般会計 《収入の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
前年度繰越金	3,401,415	3,401,415	0	
前受会費(2年度分)	3,423,000	3,423,000	0	会費会計より振替
令和2年度会費	3,000,000	4,624,000	1,624,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,300,000	1,281,000	△19,000	新規同窓会入会金
名簿会計・特別会計より繰入	1,500,000	1,500,000	0	
雑収入	50,000	64,664	14,664	受取利息、ブックセール代、寄附等
合計	12,674,415	14,294,079	1,619,664	

《支出の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
総会費	250,000	0	△250,000	総会(中止)
会議費	130,000	5,094	△124,906	理事会、役員会
交際費	30,000	8,240	△21,760	
通信費	700,000	828,240	128,240	会費納入関係の印刷、総会ほか等
旅費交通費	50,000	23,640	△26,360	役員会
支払手数料	300,000	423,005	123,005	会費納入関係の手数料、各種振込手数料
雑給与	1,400,000	993,300	△406,700	
コンピューター関係費	38,826	16,500	△22,326	ソフトメンテナンス料
ホームページ運用費	64,800	64,800	0	サーバー運用費
事務用品費	55,000	11,717	△43,283	コピー用紙他
備品・消耗品費	150,000	506,467	356,467	複合機・プリンター、入会記念グッズ
広報発行費	1,200,000	1,164,692	△35,308	[JUNGIDO] 37号発行
広報発送費	2,300,000	2,169,481	△130,519	広報封入封緘、広報送料
学校助成金	1,000,000	1,000,000	0	特別講座・グローバル研修助成
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	0	文化班・体育班活動支援
慶弔費	50,000	22,000	△28,000	
周年同窓会祝い金	600,000	0	△600,000	
各部会費	700,000	200,923	△499,077	
[広報部会費]		14,000		原稿謝礼
[事業部会費]		15,036		ゴルフ中止案内
[総務部会費]		171,887		会費納入再依頼
予備費	2,555,789	0	△2,555,789	
合計	12,674,415	8,538,099	△4,136,316	

差引現在残高 5,755,980 (14,294,079-8,538,099)

特別会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	1,960,003	
寄付	6,000,000	ささなみ同窓会卒業生(昭53)の方より
利息	46	8/7,2/12
合計	7,960,049	

《支出の部》

項目	金額	備考
残高証明手数料	440	4/2
一般会計へ振替	900,000	
合計	900,440	

差引現在残高 7,059,609 (7,960,049-900,440)

会費会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前受会費繰越金	9,034,000	R元年度の前受金
令和2年度会費	4,624,000	当年度分
前受会費	6,815,000	R3以降分の会費
合計	20,473,000	

《支出の部》一般会計へ振替

項目	金額	備考
令和2年度会費	4,624,000	当年度分の会費
令和2年度分前受会費	3,423,000	R元年度の前受金から
合計	8,047,000	

差引現在残高 12,426,000(20,473,000-8,047,000)

一般会計及び会費会計現在残高 18,181,980

一般会計現在残高 5,755,980 + 会費会計現在残高 12,426,000 = 18,181,980

名簿会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	617,331	
名簿売上金	16,000	
利息	1	8/7
合計	633,332	

《支出の部》

項目	金額	備考
残高証明手数料	440	4/2
一般会計へ振替	600,000	5/20
合計	600,440	

差引現在残高 32,892

令和3年度 事業計画(案)

同窓会相互の交流・親睦と教養の向上を図るとともに、母校に対する支援・協力の諸事業を行います。同窓会では、同窓会の安定的運営の根幹となる会費の納入率の向上に努め、高齢化の進む中で、より多くの情報発信のための広報誌の充実、周年同窓会への支援強化、母校への支援の継続強化を行い、同窓会活動を充実してまいります。

また、会員のコロナ禍における感染防止、安全に十分配慮した対応を検討します。

- 総務部会 定例総会・理事会の開催や役員会等を必要に応じ開催します。母校との連携・協力を積極的にするとともに、各部会への協力、調整を行います。同窓会活動をすべての年齢層に浸透させる方策等を検討します。
- 財務部会 健全な同窓会会計の確立のため、同窓会会費の納入促進に努めます。
- 事務局 会員との情報交換、周年同窓会への支援・援助、年会費の徴収、年会費未納者への納入依頼、地域・職域の組織づくり、体育・文化班OB会の支援、同窓会ホームページのコンテンツ管理等を行います。
- 事業部会 総会時の講演会の開催、各学年の周年同窓会への協力、ゴルフ大会・研修会等の交流会の開催を通じて、同窓会活動の活性化に努めます。また、学校の後援会活動、文化班・体育班活動の奨励に努めます。
- 広報部会 母校の情報発信や同窓生相互の交流を図るため、年度当初に同窓会広報誌「JUNGIDO」を発行します。会員と母校とを繋ぐ充実した紙面づくりおよび同窓会ホームページを通して、広報活動の充実にも努めます。

ホームページアドレス
<https://dousokai.site/zezekoukou/>
 メールアドレス
zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp

◆同窓会財産目録(R3.2.28現在)

I 一般会計及び会費会計 合計

◇郵便局	◇滋賀銀行		
郵便貯金 1口 7,112,337円	本店営業部 普通預金 293,491円		
郵便振替 1口 2,125,096円	膳所支店 普通預金 8,592,997円		
◇コンビニ入金分 0円			
◇手許現金 58,059円		計	18,181,980円

II 特別会計

◇滋賀銀行 膳所支店 普通預金 7,059,609円	計	7,059,609円
----------------------------	---	------------

III 名簿会計

◇滋賀銀行 膳所支店 普通預金 32,892円	計	32,892円
-------------------------	---	---------

コンビニで簡単納入

年会費納入のお願い

令和3年度会費を同封の振替用紙にてコンビニ又は郵便局で納入いただきますようお願いいたします。振替用紙が入っていない方は会費を前納されている方です。

会費は年額2,000円となっておりますが、5年(10,000円)、まとめてご納入いただければ幸いです。

銀行で納入される方は同封の振替用紙は使用できません。手数料はご負担願います。
 滋賀銀行 本店 普 913381



ご理解とご協力を
 よろしくお願い
 いたします。

第69回卒業式



令和3年3月2日、本校体育館において、「第69回卒業証書授与式」が行われました。普通科387名、理数科40名、計427名が新たに膳所高校から旅立ちました。

生とその保護者の皆さま、教職員のみが参列する式とさせていただきます。また、座席の間隔を広げ、式の途中で扉を開けて換気を行うことや、式歌の斉唱を控えるなど、様々な対策を行いながら、厳粛な雰囲気のもと、卒業式が滞りなく挙行されました。

檀原義幸校長は式辞の中で、今年度はインターハイや春の県高体連・高文連の大会や行事のほとんどが中止となったことに触れ、「努力の成果を発表する場は失われたとしても、日々の活動から獲得した様々な能力や経験は今後の人生において必ず皆さんを支える基盤となる」と激励されました。また、諸先輩方に続いて日本の将来を担う若者へと成長し、「人を愛し、人に愛され、心豊かな人生を送ってほしい」と期待を述べられました。

「卒業生の言葉」では、代表の福本雄大さんが、「自分とは異なる価値観を持つ、志の高い、大切な友人に囲まれて過ごす三年間」が「この上なく贅沢なものでした」と膳所高校での生活を振り返り、「『遵義・力行』の精神のもと学び続け、まだ見ぬ世界へ、大きく羽ばたいていきます」と力強く決意を述べました。最後は、盛大な拍手を受けながら、卒業生の皆さんが清々しい表情で式場をあとにしました。

これに先立ち3月1日には、同窓会入会式が行われ、大崎会長らの歓迎の言葉、そして新しい理事の紹介のあと、学年代表理事の近藤慶佳さんが「入会の言葉」を述べ、卒業生には「同窓会バツジ」が贈られました。卒業生の今後の益々のご活躍を祈念いたします。



班活動報告

2020年度 全国レベルの大会結果

ヨット
JOCジュニアオリンピックカップ
男子420級 5位 須田 智也・市川大歩
女子レーザーラジアル級 8位 三田村風香

ボート
全国高等学校ボート選手権特別大会
女子舵手付クワドルブル 7位
高木絵麻・富元日和・後藤結美・片矢菜月・高間楓
藤田華子・細木美鈴
全国高等学校選抜ボート大会
女子舵手付クワドルブル 出場
高木絵麻・後藤結美・藤田華子・高間楓・細木美鈴・高岸南海・伊藤杏華
女子ダブルスカル 5位
井上愛莉・橋本結菜・勝見紅葉

空手道
第40回全国高等学校空手道選抜大会
女子個人組手 出場 松前遥香
女子個人形 出場 樋渡悠聖

合唱
全国高等学校総合文化祭高知大会(県合同 with 参加)文化連盟賞
内田優月・奥村悠・宮田航平・馬場くるみ・八田咲和花・永井達也・倉橋ひかる・東岸裕菜・川本千寛・今中悠輝・鈴木光泰・宇都優花・ロスマス絵梨花・丹羽奈々子
第14回音楽アンサンブルコンテスト全国大会高等学校部門 優良賞
内田優月・奥村悠・宮田航平・倉橋ひかる・東岸裕菜・永井達也・八田咲和花・馬場くるみ

弁論
全国高等学校総合文化祭(2部開催)出場 文化連盟賞 北村彩

書道
全国高等学校総合文化祭高知大会 書道部門
県代表として出場 文化連盟賞 竹村陸
第51回近江神宮全国書道大会 滋賀県知事賞 堀更咲

写真
第44回全国高等学校総合文化祭 文化連盟賞 大高健泰
日本化学クラブ2020 銅賞 西村春人

第10回科学の甲子園全国大会 出場
伊波尚通・中川はつみ・平野裕和・河崎農太郎・西澤元貴・大野友輝
宗陽向・中橋和甫

コロナ禍下の膳所高校

総務課 加藤 徳彦

今年度4月当初、8日に定員減となった新入生400名の入学式を行い、新学期がスタートしたが、13日から臨時休業となってしまった。休業期間は、目途として4月末までということであったが、結局5月31日まで延長された。

学習面においては、本校ホームページに週ごとに課題や動画を掲載し、メールで提出するシステムをとることで進めていった。5月中旬までは、課題の質問・相談のための登校のみ可能であり、H・RについてはGW明けから、オンライン形式で行った。5月中旬以降、週に1回各学年半数ずつ、半日登校ができるようになり、6月になって、ようやく全生徒が登校して学校再開となった。最初、登校時刻を遅らせ、短縮授業を進めていった。

6月中旬からは、班活動もできるようになった。また7月の湖風祭については、県の方針に従い、やむなく中止の方向としたが、その後生徒会が感染症拡大予防マニュアルを作成し、安全な開催を訴えて、結局例年より規模を縮小して実施することになった。映像音響配信システムをPTAの支援を受けて急遽導入し、創立120周年の記念事業により各教室に設置された、プロジェクトを利用することによって、マスクゲームや、ビジュアルはもちろんだ、開閉会式等も生徒は各教室に分散して見ることができた。湖風祭の実施に関しては、何より生徒の熱意と行動力によるところが大きい。保護者や、生徒会担当教員のサポートも見逃

すことができないことを記しておきたい。

臨時休業期間があったこともあり、夏休みは短く、8月7日〜22日であった。長い2学期がスタートし、徐々に普段の学校生活に戻っていった。生徒や教員には、県からMicrosoftのアカウントを配布され利用が始まった。また、SSHの関係や、京都大学、滋賀医科大学等の講義、各種コンクール等はリモートによって行われることが多くなった。4月に予定されていた、バスを利用した校外学習の代わりに、10月に学年行事を1日行うことができた。しかし、次第にコロナの感染状況が悪化していき、10月に予定されていた芸術鑑賞が中止となった。また、2年生最大のイベントである修学旅行は、当初12月・台湾の予定であったが、1月・沖縄に変更され、それも残念ながら結局中止に追い込まれた。1年生も、12月の合唱コンクールが中止となり、年末から年始にかけて、行事的には残念なものとなった。一方で今年度から始まった全国共通学力テストは、3年生が混乱なく無事受験した。

生活環境においては、教室の換気が夏・冬に関わらず徹底され、手指消毒液が各教室等に置かれた。担任は毎日、掃除時間に机や椅子を消毒するように促された。また、生徒も教師もマスクを着用し、授業中においても防寒着を着用して寒さをしのぐことも可とされた。更衣室の密を避けるため、休日のクラブにおける登下校において、ジャージ等でもかまわないこととなった。

施設・設備的には、GIGAスクールネットワーク構想が国によって進められ始めていたが、コロナ禍によって加速された形となり、学校の通信環境の改善、多くのタブレット端末の配布等がなされ、ICTの波が一気に押し寄せた。

以上のような混乱の今年度であったが、なかなか治まらないコロナ禍において、学校としてはしっかり対応していきたい。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により、緊急事態宣言が発令され、生活・行動が大きく変わりました。東京五輪は今年に延期、予定していましたが同窓会総会と講演会、同窓会事業が中止となり、周年同窓会や記念同窓会は全て延期や中止となりました。

そのため、JUNGOの紙面も2ページ減らざるを得なくなりました。そんな中、母校は、学校生活を輝きのあるものにするため、先生方と生徒の皆さんが日々努力されてきました。今号はその様子を多く取り上げました。さて、広報部会は土曜日を中心に年4回ほど開いております。興味のある方どうぞ仲間になってください。

編集後記



- 上野滋子(膳2)・松村暢江(膳10)・東郷重明(膳15)
- 内山陽子(膳16)・新川均(膳16)・卯田重子(膳16)
- 護法良憲(膳19)・八耳哲也(膳19)・小川治彦(膳25)
- 岡澤則子(膳26)・雲 恭子(膳33)・増井詠子(膳36)
- 坂下 覚(総務)

サクサク!

主要大学合格者数

(主な国立大学)		(主な私立大学)	
北海道大	6名	京都府立大	47名
東北大	3名	京都教育大	1名
筑波大	2名	京都工芸繊維大	24名
千葉大	1名	大阪大	50名
東京海洋大	1名	大阪教育大	1名
東京大	2名	神戸大	29名
東京外大	2名	奈良女子大	3名
東京農工大	1名	岡山山	6名
東京工業大	2名	広島大	8名
一橋大	1名	高知大	1名
横浜国立大	4名	徳島大	4名
新潟大	1名	愛媛大	1名
金沢大	4名	九州大	4名
福井大	3名	長崎大	1名
山梨大	1名	佐賀大	1名
信州大	1名	大分大	1名
岐阜大	3名	秋田公立大	1名
静岡大	3名	埼玉公立大	1名
名古屋大	6名	福井県立大	1名
名古屋工大	1名	静岡県立大	1名
三重大	6名	岐阜県立大	2名
滋賀大	10名	名古屋市立大	2名
滋賀医大	20名	滋賀県立大	8名
		京都市立芸大	1名
		立教大	1名
		早稲田大	14名
		東京医療保健大	1名
		マリアンナ医大	1名
		愛知医大	3名
		豊田工大	1名
		藤田医大	1名
		名古屋外大	4名
		成安造形大	1名
		京都芸術大	4名
		大谷大	3名
		京都産業大	28名
		京都女子大	15名
		京都橘大	23名
		京都薬大	33名
		同志社大	172名
		同志社女子大	16名
		佛光大	16名
		立命館大	364名
		龍谷大	115名
		京都医療科学大	1名
		大阪医大	13名
		大阪工大	4名
		大阪歯大	1名
		大阪学院大	1名
		関西大	7名
		関西西大	9名
		近畿大	51名
		大阪女学院大	1名
		大阪電気通信大	4名
		大阪経済法科大	2名
		大和	1名
		関西学院大	17名
		甲南大	1名
		兵庫医大	3名
		武庫川女子大	7名
		福山大	1名
		産業医大	1名
		福岡大	1名
		(その他)	
		防衛医科大学校	1名
		放送芸術学院	1名
		国際観光専門学校	1名

*3月30日までの判明分
*過年度卒業生を含む